

# 学校だより たぐち

佐久市立田口小学校 平成28年 9月 8号

運動会の練習が佳境に入りつつあります。以前でしたら、半月にも及ぶ練習時間を確保しての運動会の実施でした。週休2日となり10日余りの運動会特別時間割の中で主に練習をするように変わってきています。

以前にも学校たよりで述べさせていただきましたが、行事でたくさんの事を子供たちは学び、獲得していきます。それを自分のものとして力と自身を付けていきます。しかし、反面、運動にあるいは運動会に対してきらいな意識を持つ児童もいることもまた事実です。やはり一人一人に児童の抱えている事実を大事にして見守り、具体的な手立てを仕組んでいく必要を強く感じています。

## 2学期始業式の校長講話から

(前略) 2学期は、いろいろな行事が待ち構えています。運動会がありますし、田口峠マラソンや遠足があります。この他にも学年毎にいろいろな行事や学習があります。盛りだくさんです。でも、そのことをなんとなく過ごしてしまうと、とてももったいないことになります。何を学んだのか何を自分の物にしたか はっきりしないまま過ぎていくこととなります。自分を高め、周りの人から信頼され、自分の事が大好きになれるように過ごして行きましょう。皆さん一人一人には、まだまだ自分も気がついていない力があります。それはまちがいありません。でもそれは、黙って何もしないでいては、発揮されませんし、誰にもわからないまま過ぎて行ってしまいます。

**学校は、皆さんの秘められたまだだれも知らない力を発揮出来るように、鍛え、伸ばすところです。それは先生や友達のことをよく聞くことから始まります。でもそれだけでは、発揮されません。今は何をすべきなのか、今は何が大事なのかを、自分で気づき、何をすれば良いかを自分で考え、どんなに厄介でも、どんなに面倒くさくても、とにかくやってみることが大事です。人に言われてやってみるのではなく、自分でやってみることが大事です。**

この写真をご覧ください。



この写真は、ポーランドの卓球の選手の写真です。リオネジャネイロオリンピックの女子団体の日本の選手と対戦したときの物です。何か気がつくことはありませんか。

そうですね。この選手は右腕のひじから先が、生まれながらありません。でも、こうして、オリンピックに出場して、堂々と卓球で、自分の国を代表して、世界の国々の選手と競い合っています。この試合を見ていましたが、



とても堂々としていて、立派だなと思いました。

この選手の名前は、ナタリア・パルティカさんといいます。彼女はこう言います。

「障害なんて、なんとも思わない。皆と同じ選手。他の人と同じ。少し努力がいるだけ」だと。

このことが、私はオリンピックの番組や新聞記事を見て、一番感動したことでした。私たちは、少し厄介だったり、少し都合が悪かったりすると、ごまかそうとします。都合の悪いことに正面から向き合おうとしない場合があります。でも、ナタリアさんは、どうしようもなく、変えようがない自分の体の障がい正面から受け止め、「なんとも思わない。同じ。」と言い切ります。私はすごい人だと感動しました。

この2学期、少しぐらいの面倒や困難なことに負けないで乗り越え、過ごして行きましょう。ステキな自分と出会ってください。